日本中国語学会々報　2021年6月

https://ss1.xrea.com/www.chilin.jp/

◆目次◆

ご挨拶　小野秀樹（日本中国語学会会長）.....1
支部例会実施報告　2021.1-2021.5.....2
会議報告.....3
全国大会および例会、「中国語学セミナー」開催のお知らせ.....8
選挙公示.....10
事務局からのお願いとお知らせ.....10

ご挨拶

小野秀樹（日本中国語学会会長）

新型コロナウイルス感染症の状況は昨年とほとんど変わっておらず、高齢者のワクチン接種も始まりましたが、まだ収束に向けての著しい進展が見られない状態が続いております。会員各位におかれましては、どうか引き続きくれぐれもご自愛ください。

今年度の学会行事につきましては、決定したことから順次会員のみなさまにお知らせしておりますが、すべての行事を全面的にオンラインで実施いたします。すでにウェブサイトで掲示や通知を行なっていることも含めまして、この場をお借りしていくつかの情報をお知らせいたします。

学会主催の第 3 回中国語学セミナーは、本来の日程に戻して 9 月中旬に開催いたします。講師には古屋昭弘先生、楊凱栄先生、大西克也先生をお招きします。詳細はウェブサイトの方をご覧ください（7 月中旬頃までには掲示する予定です）。

全国大会は、11 月 6 日（土）、7 日（日）の日程で、二松學舍大学を本部校として開催いたします。今年度はワークショップや研究発表もオンライン生配信の方式（Zoom を使用する予定です）で行ないます。昨年よりも会員同士が直接意見交換をすることができる場が増えますので、どうかご活用ください。なお、総会については昨年度と同じく、報告事項と議事を掲示した上でコミュニケーションツール Slack を利用した質疑応答の方式により実施させていただきます。ご不便をおかけいたしますが、どうかご了承ください。

今年の大会では理事選挙を行なうことになっております。ただ、大会をオンラインで実施するので、例年のように現地で投票していただくことができません。選挙の実施法については昨年末から今年の 4 月にかけて、学会事務局、オンライン WG、および選挙管理委員会で協議を重ねてまいりました。その結果、外部業者に投票システムの作成を委託した上で、インターネットシステムを用いたオンライン投票による選挙実施案を作成し、5 月に開催された理事会と評議会（評議会はメール審

議）とで承認されました。会員各位（有権者）への選挙の連絡は 10 月中旬を予定しておりますが、電子メールを使用いたします。メールアドレスは e-naf に登録していただいているものを使用しますので、確実に受信できるアドレスであることをご確認ください。また、外部業者にもメールアドレスを知らせる必要が生じますので、希望される方は設定された期間内（9 月末日まで）に、e-naf でメールアドレスの変更をしてください。

以上の情報は、すべてウェブサイトに掲載いたしますので、詳しくはそちらをご参照ください。情報は確定したものから掲載していきますので、適宜ウェブサイトを確認していただけましたら幸いです。重要な情報につきましては、ウェブサイトに加え、毎月発行されるメールマガジンでも 7 月号から記事を掲載してお知らせします。

ここで一件、来年度に関する情報もお知らせいたします。来年 2022 年度の全国大会の開催を、富山大学（代表：福田翔会員・大会運営委員）がお引き受けくださいました。こういう状況下で先の見通しの立ち難い中、開催をお引き受けくださいました福田会員ならびに富山大学の関係各位に厚く御礼申し上げます。ただ、来年の大会を現地で開催するか、オンライン形式での開催にするかは感染症の状況に左右されますので、現時点ではまだ決定することができません。具体的な開催方式に関しては、来年春からあらためて協議を始め、2022 年 5 月に開かれる理事会（次期理事会）で決定していただく運びとなっております。次年度の大会開催校については、本来ならば全国大会で開かれる評議会および総会で公表するのが慣例となっておりますが、上述のように、今年も総会を会議形式で開くことができませんので、少し早いですがこの場をお借りしてみなさまにお知らせ申し上げる次第です。

昨年の春、私どもが事務局をお預かりする少し前から新型コロナウイルス感染症が拡大し、その状態のままで任期の 2 年目を迎えました。昨年度の経験を生かしながら、かつ、昨年度よりもさらに充実した行事開催ができることを目指して業務を遂行しております。ただ、今年度もオンライン方式を用いた行事開催にせざるを得ない事情から、一堂に会して交流するということができません。この点だけは非常に残念に思いますが、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。不自由な状況下ではございますが、みなさまのご健康と、研究のご発展をお祈り申し上げます。

［2021 年 6 月 10 日記］

支部例会実施報告　2021.1-2021.5

◆北陸支部例会

◇第 1 回：2021 年 3 月 20 日（土）午後 1 時～
オンライン（Zoom）による開催

・日高知恵実（金沢大学・研究員）：徐州方言番組「大卓説事」の司会者の言語に見る虚構性

江蘇省徐州市の地元テレビ局では、2006～2015 年まで「大卓説事」という番組が放送されていた。この番組では司会者が徐州方言を

用いて人々の生活を伝えてきたとされるが、その言語は従来の方言学が研究対象とする「方言」とは性質が異なる。例えば、使用される語は虚詞を主とする一部を除くと標準語であり、政治経済や科学の領域にわたる近代的語彙が取り込まれている。本発表では、「大卓説事」の司会者が話す言語の特徴について、先行研究にある伝統的な徐州方言との比較や若年層の徐州方言母語話者への聞き取りから得られた知見を踏まえて分析を進める。その上で、近代的語彙の方言への流入現象が「借用語音韻論」の議論に寄与することを指摘する。

・Robert Sanders、岩田礼、刘乃华（小松大学）：探讨汉字对初学汉语的小松大学的学生有何影响

小松大学国际文化交流学部的构想是要培养本科生能掌握英语和汉语，并能进行基本的语言交流。因此，设计一年级汉语课程时，就决定了一年级的教学既要避免汉字，只用汉语拼音书写中文，又要多用英文解释中文。我们选择采用了一本为英语母语者编写的教材。在 2018-2019 学年度，为了探讨汉字对初学汉语的学生有何影响，就把一年级的汉语学生分为两个班。第一班（对照班）仍采用以英语解释语法的教学策略，而且仍使用只有汉语拼音书写汉语例句的教科书。第二班（实验班）采用原来教科书的另一个版本，即在其中添加汉字，并与汉语拼音一起呈现。但在课堂教学中，两个班仍保留原来的以英文解释语法、仅用汉语拼音书写例子的教学原则。本文介绍研究结果。

会議報告

■編集委員会

◆第 1 回編集委員会（『中国語学』268 号）

日時：2021 年 3 月 21 日（Zoom によるオンライン）

出席者：千葉謙悟（委員長）、飯田真紀、伊藤さとみ、森宏子、中西裕樹、張佩茹、宮本徹、李佳樑（以上委員）

【議事】

1. 『中国語学』第 268 号の投稿論文について

・投稿総数 12 篇。審査の結果 11 篇を受理した。分野別内訳は現代語文法 6、方言 3、音声学 1、教育 1 である。各篇について査読者各 3 名を決定した。査読報告書の提出期限を 5 月 5 日（水）とし、5 月 15 日（土）の第 2 回編集委員会において採否の決定を行うこととした。

2. 『中国語学』第 268 号の特集論文について

・昨年度の大会講演をご担当いただいた荒川清秀会員（元愛知大学）に加え、陳力衛会員（成城大学）に寄稿を依頼することとした。

3. 2021 年度学会奨励賞の候補者について

・『中国語学』第 267 号に掲載された論文の執筆者の中から 3 名を選出し、5 月 15 日（土）の第 2 回編集委員会において候補者を決定することとした。

◆第 2 回編集委員会（『中国語学』268 号）

日時：2021 年 5 月 15 日（土）13 時～16 時（オ

ンライン審議）
出席者：千葉謙悟（委員長）、飯田真紀、伊藤さとみ、森宏子、中西裕樹、張佩茹、宮本徹、李佳樑（以上委員）
【議事】
1. 『中国語学』第 268 号投稿論文の採否について
・受理した 11 篇の投稿論文を査読結果に基づいて審議した結果、3 篇を要二次審査、8 篇を不採用とした。要二次審査の 3 篇については、6 月 30 日（水）必着で修正論文の提出を求め、編集委員会において二次審査を行った上で、掲載の可否を最終決定することとした。
2. 2021 年度学会奨励賞の候補者について
・第 1 回編集委員会で選出した 3 名の執筆者について審議を行い、学会奨励賞の候補者を理事会に報告することとした。
3. その他
・いわゆる「人を対象とする研究」が今後『中国語学』に投稿された場合の倫理審査等について、対応を検討した。
・『中国語学』への投稿促進策について意見交換を行った。
・『中国語学』査読報告書の中国語版について文言の修正を行うこととした。
・『中国語学』投稿テンプレートに頁番号を付すよう修正することとした。
・『中国語学』執筆要領の「5. 注意事項」の（6）に例として挙げられている日本語文献の掲載順序を修正することとした。
・来年度交替する編集委員 4 名の後任につき、人選や今後のスケジュール等につき意見交換を行った。

■大会運営委員会

通信による持ち回り審議（2020 年 12 月 28 日～2021 年 5 月 27 日）
委員：前田真砂美（委員長）、浦山あゆみ、王周明、奥村佳代子、島村典子、戸内俊介、橋本永貢子、濱田武志、福田翔、吉川雅之、盧建
【報告事項】
1. 第 71 回大会の準備状況について
（1）日程と開催校（本部校）、招待講演の登壇者、研究発表の応募受付方法、予稿集の公開方法について、確認を行った。
（2）研究発表およびワークショップの公募に先立ち、ウェブサイトに掲載する各種応募書類の修正・確認を行った。
（3）講評付き研究発表について、会場での議論の活性化のため、時間配分の見直しを行った。
2. 第 70 回大会の会場で見られた問題について
・Slack を用いた質疑応答について、問題点を精査した。
【審議事項】
1. 第 72 回大会（2022 年度）開催校について
・同大会の開催校について審議を行い、下記 1 校をその候補として理事会に報告することとした。
［学校名］富山大学
［代表］福田翔会員
［日程］調整中

■辞典編纂委員会

◆2020 年度第 3 回辞典編纂委員会
日時：2021 年 3 月 17 日～3 月 20 日（メール審議）
出席者：平田昌司（委員長）、大西克也、小野秀樹、木津祐子、朱春躍、竹越孝、三宅登之、山崎直樹、楊凱栄

【議事】

1. 2021 年度における辞典原稿閲覧権限共有範囲について

kintone に収めている中国語学辞典原稿の閲覧権限を 2021 年度は辞典編纂委員会委員 9 名とすることが承認された。

2. kintone の管理者について

kintone の管理者を、平田委員長に三宅委員を加え、2 名体制とすることとした。

◆2021 年度第 1 回辞典編纂委員会

日時：2021 年 4 月 9 日～4 月 12 日（メール審議）

出席者：平田昌司（委員長）、大西克也、小野秀樹、木津祐子、朱春躍、竹越孝、三宅登之、山崎直樹、楊凱栄

【議事】

1. 中国語学辞典の出版計画について

出版社側から部数・価格・出版形態等についての提案があり、審議の上で委員会として了承し、理事会に諮ることとした。また出版予定時期についても理事会と協議することとした。

2. 中国語学辞典編纂作業の進捗状況について

2021 年 5 月 16 日現在での原稿整理は約 95％の進捗状況である。

■学界展望編集委員会

1. 「学界展望編集委員会」の英語名について

小野秀樹会長および日本中国学会出版委員会静永健委員長との協議の上、下記のように定めた。

Editorial Committee of Trends and Activities in Chinese Linguistics

2. 2020 年「学界展望　語学」の編集

2021 年 3 月 2 日に学界展望編集委員会委員に執筆依頼を送付し、5 月 15 日をめどに初稿を取りまとめることとなった。なお、日本中国学会出版委員会の要請により、文字数は例年通り 15,000 字となった。

今次の学界展望は、ともに 2021 年 10 月発行予定の『日本中国学会報』第七十三集に掲載され、『中国語学』第 268 号に転載される予定である。

3. 2018 年「学界展望　語学」の中国語版刊行

2018 年「学界展望　語学」の中国語版が、《古代文学前沿与评论（第五辑）》（中国社会科学院文学研究所古代文学学科编，2020 年 12 月，社会科学文献出版社，ISBN 978-7-5201-7713-9）32-48 頁に刊行された。

■2021 年度第 1 回理事会

日時：2021 年 5 月 16 日（日）14 時～18 時（※Zoom によるオンライン開催）

出席者：小野秀樹（会長）；楊凱栄（副会長）；秋谷裕幸、伊藤さとみ、遠藤雅裕、古川裕、吉川雅之（以上理事）；千葉謙悟（編集委員長）；前田真砂美（大会運営委員長）；平田昌司（辞典編纂委員長）；鈴木慎吾（ウェブリソース委員長）；秋谷裕幸（学界展望編集委員長[兼任]）；池田晋、今井俊彦、松江崇（以上幹事）

欠席者：丸尾誠（理事）

【報告事項】

1. 一般報告

1.1 役員・委員等の異動

・評議員交代

関東支部：朱継征（新潟大学）
→ 戸内俊介（二松學舍大学）
野原将揮（成蹊大学）
→ 野田寛達（明治大学）

関西支部：小嶋美由紀（関西大学）
→ 吉田泰謙（関西外国語大学）

1.2 会員動向（2021 年 4 月 1 日現在）

・会員数　4 月 1 日現在　（増減は 2020 年 10 月 1 日を基準とする）

			4/1 現在	増減
総会員数（賛助会員をのぞく）			978 名	−23
	（内訳）	顧問	5 名	±0
		名誉会員	15 名	±0
		通常会員	895 名	−23
		団体会員	5 名	±0
		海外会員	58 名	±0
賛助会員			19 社	−1

〔昨年度除籍者〕　52 名（国内会員　39 名 / 海外会員　13 名）

ご逝去　3 名（松本 昭名誉会員、杉田泰史会員、山本真味会員）

2. 支部例会関連

・支部例会世話人交代

関東支部：　石村広（中央大学）→　張盛開（静岡大学）

・今年度の例会開催予定

北海道（山田　敦士会員）：　1 回
関　東（張　　盛開会員）：　2 回
北　陸（加納　希美会員）：　1 回
東　海（張　　勤会員）：　2 回
関　西（大岩本幸次会員）：　2 回
中　国（荒見　泰史会員）：　未回答
九　州（木村　裕章会員）：　2 回

3. 大会運営委員会報告

前田委員長より次の報告があった。

（1）委員の交代・留任について

・退任：荒木典子、加藤晴子、塩山正純、李佳樑の各会員（2020 年 11 月 30 日付）

・就任：浦山あゆみ、戸内俊介、橋本永貢子、福田翔の各会員（2020 年 12 月 1 日付）

・留任：吉川雅之理事（2021 年 4 月 1 日付）

（2）第 71 回大会の準備状況について

1）開催形態：オンライン開催（Zoom を使用予定）

2）日程・開催校（本部校）・代表

2021 年 11 月 6・7 日（土・日）、二松学舎大学（東京都千代田区）、戸内俊介会員

3）招待講演

木津 祐子 会員（京都大学）

佐藤 進 会員（東京都立大学名誉教授）

4）各種応募期間

ワークショップ：5 月 1 日～5 月 31 日

研究発表：6 月 16 日～6 月 30 日

（3）全国大会での研究発表応募フォーム使用開始について

・研究発表応募を電子メールではなくウェブサイト上で受け付ける。フォームツールは formrun を利用予定である。

4. 編集委員会報告

千葉委員長より次の報告があった。

（1）『中国語学』第 268 号の投稿論文の採否について

・受理した 11 篇の投稿論文を査読結果に基づいて採否の判定を行い、3 篇を要二次審査、8 篇を不採用とした。

（2）『中国語学』第 268 号の特集について

・昨年度の大会講演をご担当いただいた荒川清秀会員（元愛知大学）に加え、陳力衛会員（成城大学）に寄稿を依頼することとした。

（3）2021 年度学会奨励賞の候補者について

第 2 回編集委員会において候補者を決定した。

5. 辞典編纂委員会報告

平田委員長より次の報告があった。

（1）2021 年度における辞典原稿閲覧権限共有範囲について

・kintone に収めている中国語学辞典原稿の閲覧権限を 2021 年度は辞典編纂委員会委員 9 名とすることが承認された。

（2）kintone の管理者について

・kintone の管理者を、平田委員長に三宅委員を加え、2 名体制とすることとした。

（3）中国語学辞典の出版計画について

・出版社側から部数・価格・出版形態等についての提案があり、審議の上で委員会として了承し、理事会に諮ることとした。また出版予定時期についても理事会と協議することとした。

（4）進捗状況について

・2021 年 5 月 16 日現在での原稿整理は約 95％の進捗状況である。

6. 学界展望編集委員会報告

秋谷委員長より次の報告があった。

（1）「学界展望編集委員会」の英語名について

・委員会の英語名を下記のように定めた。

Editorial Committee of Trends and Activities in Chinese Linguistics

（2）2020 年「学界展望　語学」の編集

・学界展望編集委員会委員に執筆を依頼した。

（3）2018 年「学界展望　語学」中国語版刊行

・2018 年「学界展望　語学」の中国語版が刊行された。

7. 除籍候補者と住所不明者について

松江幹事より今年度の状況について報告があった。

【審議事項】

1. 学会奨励賞の授賞について

・学会奨励賞の授賞者を編集委員会の原案通り承認した。

2. 次期全国大会開催校について

・次期開催校については現在調整中である。

（事務局付記：その後、富山大学で開催することが決定した）

3. 今年度の理事選挙について

・小野会長から今年度の理事選挙をオンラインで実施することについて、これまでのワーキンググループおよび選挙管理委員会での議論の経緯について報告があった。それを踏まえて、オンライン選挙実施案とともに、内規「会長及び理事選挙方法に関する内規」（→第 10 条関連）に関する時限的変更措置が提案され、承認された。

内規「会長及び理事選出方法に関する内規（→第10条関連）」に関する時限的変更措置

(1) 2021年度全国大会が全面的にオンラインで開催されるため、理事選挙も、オンラインでインターネットの投票システムを用いて実施する。

(2) 有権者、被選挙権者および当選者の選出基準など、選挙に関する規定は従来の内規に定める内容に従う。

(3) 投票は、学会が設定した投票サイトに各会員がアクセスして行なう。投票期間は2021年11月1日（月）から11月7日（日）までの7日間（予定）とする。具体的な投票方法の説明などは、別途会員にメールとウェブサイトの掲示などで詳しく通知する。

(4) 開票結果は、投票締め切り後できるだけ速やかに選挙管理委員長から学会ウェブサイトおよびメールマガジンなどで会員に公表する。

(5) 上記の変更措置は、2021年度の理事選挙にのみ適用するものとする。

4. 中国語学辞典（仮称）基金の設立について

・小野会長より中国語学辞典基金が設立されたことが報告され、使途について意見交換が行われた。辞典の刊行予定は現理事会の任期終了以後になるので、意見を集約した上で、次期理事会に引き継ぎ、基金の執行を委ねることとした。

5. 支部の合併について

・四国支部と関西支部の合併について、今年度の総会（掲示と Slack による質疑応答）での承認を得たのちに正式に決定し、2022 年度 4 月から新体制に移行することが確認された。

6. 中華民国声韻学学会について

・中華民国声韻学学会が、日本の関連分野の学術団体に対して、相互に団体会員に加入し合うということを希望していることが報告され、意見交換がなされた。結論として、本学会は諸般の事情に鑑みて、団体会員への相互加入は行なわないこととした。

7. 顧問・名誉会員の推挙について

・杉村博文会員を顧問に推挙することが承認された。また、ニューズレターに名誉会員の推挙依頼を掲載することとした。

8. 『中国語学』バックナンバー残部の扱いについて

・『中国語学』バックナンバー残部の扱いについて、意見交換がなされた。

9. 論文投稿・研究発表に関する倫理規定について

・「人を対象とする研究」に関する倫理規定について、学会としてどのように対応すべきか問題提起があり、意見交換がなされた。11月の理事会にて継続して審議することとした。

10. 中国語学セミナーについて

・中国語学セミナーの今後の運営方針について問題提起があり、意見交換がなされた。

■ 2021年度臨時評議会

日時：2021年5月21日（金）～29日（土）（メール審議）

【審議事項】

1. 今年度の理事選挙について

・(1)2021年度理事選挙の実施方法、(2)理事選挙に関する今年度限りの時限的変更を記した内規の追加、についてメール審議をおこない、承認された。

全国大会および例会、「中国語学セミナー」開催のお知らせ

第 71 回全国大会開催のお知らせ

すでに学会ウェブサイトでご案内しておりますとおり、今年度の大会は二松學舍大学を本部として 11 月 6 日（土）～11 月 7 日（日）にオンラインで開催されます。ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。本年度の発表申し込み期間は、6 月 16 日（水）よ

り 6 月 30 日（水）日本時間 24 時までです。採択者一覧、大会プログラムは 7 月末以降に学会ウェブサイト上に順次アップする予定です。なお、予稿集は前回（第 70 回）より電子版のみの刊行となっております。詳細は学会ウェブサイト等をご参照ください。

（事務局）

今年度の例会実施予定

各支部の例会実施予定は次のようになっています。すべてオンラインで実施します。

北海道支部：1 回（2022 年 3 月）
関東支部：2 回（9 月、2022 年 3 月）
東海支部：2 回（時期未定）
北陸支部：1 回（2022 年 3 月）
関西支部：2 回（6 月 19 日→中止、12 月）
中国支部：未定
九州支部：2 回（7 月 10 日、12 月）

発表者、参会者ともに歓迎します。ただし、開催時期および回数は変更になることもありますのでご了承ください。開催予定、申込締め切り、連絡方法などにつきましては学会ウェブサイトでご確認ください。発表者の方には発表要旨（300 字以内）の事前提出をお願いしています。この要旨は本会ウェブサイト上の例会案内のページでご紹介しています。また支部例会の活動記録として、学会ウェブサイト上でいつでも参照できるように保存されます。開催に関する詳細については、各支部例会世話人までお問い合わせ下さい。

（事務局）

第三回「中国語学セミナー」開催

第三回「中国語学セミナー」を開催いたします。開催時期は 2021 年 9 月中旬、講師は古屋昭弘会員（早稲田大学名誉教授）、楊凱栄会員（東京大学）、大西克也会員（東京大学）を予定しています。開催日時や講義題目、受講申込み方法等については、詳細が決まり次第、学会ウェブサイト等でお知らせします（7 月中旬頃までに掲示する予定です）。

（事務局）

選挙公示

2021 年 11 月 1 日（月）～11 月 7 日（日）に日本中国語学会「会長及び理事選出方法に関する内規（会則第 10 条関連）」及び「内規「会長及び理事選出方法に関する内規（→第 10 条関連）」に関する時限的変更措置」に基づき理事の選挙を行ないます。ウェブサイトですでにお知らせした通り、今年度の選挙はインターネット上のオンライン投票サービスを利用することに決定いたしました。本学会に登録されたメールアドレスと後日送付するパスワードを使ってログインし、投票を行っていただきます（投票の具体的な方法については、10 月中旬にあらためてお知らせいたします）。メールアドレスの変更をご希望の方は、9 月末日までに e-naf で変更してください。投票締め切り後、選挙管理委員会が速やかに開票結果を確認し、当選者の情報をウェブサイトおよびメールマガジン、12 月発行予定の学会報でお知らせいたします。

選挙管理委員会委員

野原将揮（委員長）
戸内俊介（開催本部校）、松江崇（事務局）
※今回の選挙はオンライン方式で実施するので、選挙管理委員会の構成人数は例年よりも少なくなっています。

（事務局）

事務局からのお願いとお知らせ

■ 名誉会員の推挙について

名誉会員の推挙は、9 月 30 日までに推薦文を添えて事務局宛にメール送付でお願いします。なお、名誉会員称号授与の条件は、年齢満 70 歳以上で継続して 20 年以上本会会員であった方のうち、本会の発展に功労のあった方となっており、理事会、評議会の審議を経た上で会員総会において決定されます。

■ 住所不明の会員

事務局より送付した郵便物が返送されてきた会員のお名前を掲げておきます。もし御自身のお名前を見つけましたら、速やかに e-naf から住所変更の手続きを行なってください。またお知り合いの方のお名前がありましたら、事務局までご連絡をお願いします。

荒屋勸、郭頴侠、郭海燕、続三義、石汝傑、張篠平、中野尚美、長谷川龍太郎、林君穂、楊達、楊立明、湯翠蘭、潘詩羽、石亮亮、小島良佳、金震海、胡玉華、東孝拓、李偉、楊洲、王姝茵、孫日環、宮雪、金立鑫、郭楊、胡良娜、劉妍、恵詩文、李宛、張茜、張婉清、梁銘、孫徳坤、何潔、孫婧、王巍、賈皓煬、杜天邑、尚堃、周依漪、楊洋、王仁靖、賈柱、李怡寧、王卓、李哲

■ 2021 年度会費納入のお願い

先にお送りした請求のご案内の通り、本年度会費（一般会員6,000円）を8月31日まで（研

究発表応募者は6月30日まで）に、最寄りの郵便局からお振込下さい。

郵便振替　　加入者名：日本中国語学会
　　口座番号：00980-6-282216

『中国語学』バックナンバーなどに記載されている旧口座には振り込まないようお願いします。なお、これまでの会費が未納の方は請求のご案内に記載していますので、一括してご入金下さい。もし記載請求金額が15,000円以上となっておりましたら、今年度ご入金いただけませんと、会則《会費納入に関る内規》により除籍となりますのでご注意下さい。

■　会員情報更新のお願い

御所属や身分の変更がありましたら、会員データ管理システム e-naf にアクセスして、確認と更新をお願いいたします。職名については、該当する職名を選択してください。国内会員の場合、教授／准教授／助教／非常勤／院生／研修員の中から選択してください。また名誉教授／専任講師／（客員）教授は、そのまま記載してください。大学院研究生／科目等履修生などは「院生」に、(R)PD／（学振）研究員などは「研修員」に含みます。それ以外の場合は、上掲の選択肢の中から一番近いカテゴリーを選択してください。

海外会員の場合、教授／副教授／助教／講師／博士生／進修生の中から選択してください。また「助理教授」は「教授」と混乱する恐れがあるため、「助教」と略記してください。「碩士生／博士生」は区別せず「博士生」と表記してください。

具体的な凡例については、e-naf の会員登録情報のページを御覧ください。なおこの凡例は事務処理を目的としたものですので、今後も実情に応じて改訂することがあります。

■　退会について

退会は会費納付が前提となっています。退会ご希望の方は必ず会費納付後の年度内にお申し出下さい。

■　予稿集の販売

過去の大会予稿集は好文出版にてお求めになれます。第61回までは1500円、それ以降は2000円となっています。詳しくは学会ウェブサイトをご覧下さい。在庫につきましては好文出版（order@kohbun.co.jp）に直接お問い合わせ下さい。

■　事務局の連絡先 2022 年 3 月まで

事務局への送付先は以下の通りです：

〒153-8902　東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学教養学部中国語部会内
日本中国語学会事務局宛

ただし、コロナ禍の関係で、受け取りに時間がかかりますので、郵便物の送付はできるだけお控えいただき、急ぐ用件や返信を要する用件は事務局のアドレスにメールでご連絡をくださいますようお願いいたします。

また各種のお問い合わせは、学会ウェブサイト（https://ss1.xrea.com/www.chilin.jp/）内の「お問い合わせ」ページをご利用ください。

訃　報

本学会名誉会員である松本昭先生（フェリス女学院大学名誉教授）におかれましては、2020年9月22日に満92歳の生涯を閉じられました。ここに謹んでお知らせいたします。先生の多大な功績を讃えるとともに、永年にわたって本学会ならびに中国語研究と教育の発展に寄与されたご尽力に感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

2021年6月

日本中国語学会会長　小野 秀樹

日本中国語学会々報 2021年春季
（年二回発行）
発行者：日本中国語学会事務局
〒153-8902　東京都目黒区駒場3-8-1
東京大学教養学部中国語部会内
E-mail:jimukyok_clsj@chilin.jp
URL:https://ss1.xrea.com/www.chilin.jp/
発行日：2021年6月20日